

AJU麦の会&麦の里ニュース

第 106 号 平成 31 (2019) 年 4 月 2 日発行

定価 100 円



発行所・東海身体障害者団体定期刊行物協会

中区丸の内三ー六一四三

みこころセンター4F

定価一〇〇円

平成三二年

四月二日(毎週火曜日発行)

AJU通巻

増刊第二三四一五号

昭和五十四年八月一日第三種郵便物承認

☆クッキー作り☆

1月12日（土）、B組の仲間と療護の仲間、希望したA組の仲間たちでクッキーを作りました。各小グループに分かれて午前に生地を作り、午後に成形と焼きをしました。

今回作ったのは、スノーボールクッキーと型抜きクッキー、それから手形クッキーです。

A組さんは花音さんが参加。バターを練るのに苦勞していましたが、上手に生地を作り上げ、型抜きはとっても素早い！既成の型抜きではなく、爪楊枝を片手にサラサラと絵を描き、『ピカチュウ』『カービィ』『モンスターボール』そして大好きな『ふなっしー』！あっという間に仕上げたしまつて時間が余ってしまうほど…。

B組さんはマーガリンを順番でコネコネ。粉をふるって、みんなでワイワイと生地作り。午後は手のひらでまん丸お団子を作ったり、道具を使って上手に丸めました。クッキー屋さんができそうです！！

療護のみんなは手形クッキーに挑戦！手の平や指に卵液をつけて、クッキー生地にお絵描き！年末に年賀状コンテストで身に付けたフィンガーペイントで、職員も仲間も楽しくできました！

おやつ時間に、焼いたクッキーをみんなで食べました！やっぱり自分で作ったお菓子は美味しい❖隙間時間ができてしまい仲間を待たせてしまつて、時間の使い方やタイムテーブルに課題が残りましたが、とりあえず、楽しく美味しいクッキーが作れて良かったです！！（大下）

★いい汗流そう大会★



1月14日に春日井市の落合公園体育館で行われた「いい汗流そう大会」に参加しました。ライオンズクラブさんが主催されている障害者のための運動会で、瀬戸ライオンズさんに今回初めてご招待いただきました。

障害者の運動会といっても、フリスビーを投げて的に当てるといふような種目ばかりで、日頃運動不足の麦の里の仲間たちでも、手軽に楽しく取り組めるものばかりでした。勝敗をつけるのではなく、「うまくできた」「15点とれた」と言つた調子で参加させていただきました。運動会お約束のパン食い競争もあつて、あんパンをいただけ嬉しかったです。

昼食はレストランにご招待いただき、午後はのんびり落合公園を散歩して、今回はAグループ有志のみの参加でしたが、大変に楽しめた一日でした。

（稲）

龍泉寺募金

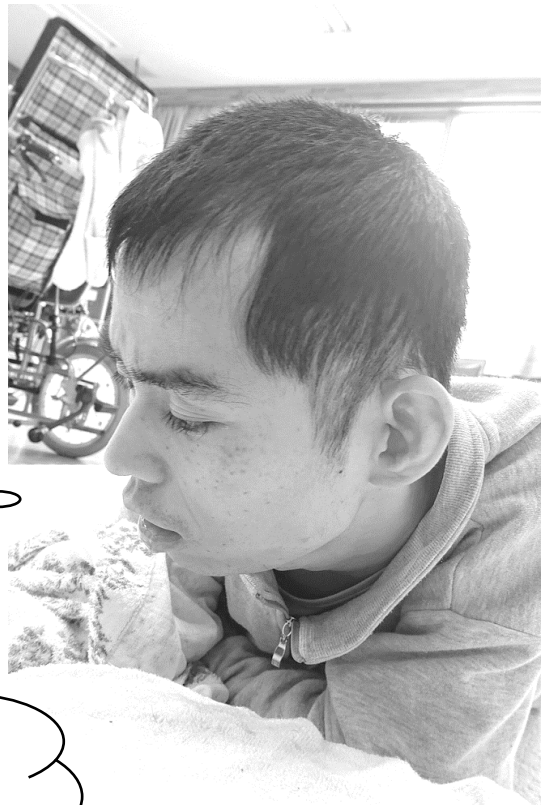
2月3日(日)グループホーム、第2麦の里建設のための街頭募金活動を龍泉寺にて行いました。今年は恵方という事もあって、朝早くから大勢の参拝客でにぎわい、仲間や職員さん達も、駐車場から人混みの中での移動は大変でした。天候にも助けられ、楽しく活動できました。前もって用意したお金を募金箱に入れて下さる方や、声をかけて下さる方、子供達からも本当に沢山の募金が集まりました。私たちの活動を理解し、支援して下さる龍泉寺様一同に感謝です。

私としては屋台の干し柿を、来年はもう一つ買おうかな。今年はラーメン食べられなかったけどと来年こそは、思っていると、鬼に笑われるかな。(K. N)

午前と午後に交代制で行われ、参道は参拝の為の大行列が屋台のあるエリアの更に下までできている状況で、私たちは例年、鳥居の前で参拝前のお客様に対して募金をお願いさせて頂いていますが、その鳥居をお借りできない状況の為、脇の砂利道をお借りし、帰られるお客様に募金をお願いさせて頂きました。

仲間たちも「こんにちは！麦の里です！グループホーム建設の為の募金活動を行っております。ご協力お願いします！」と一生懸命声を出しておりました。途中、脇道がもうひとつ、社務所の方から帰られる方もみえる為、二手分かれて募金を募ることになり、私も社務所の前へ移動しました。そちらもやはり、先程の場所と同じくらいのお客様が帰られていました。一生懸命、声を振り絞り頑張っていました。そして、集まる募金。

今年も沢山のご厚意を頂くことができました。募金して下さいました皆様、そして募金の場を今年も提供させて頂いた龍泉寺の皆様、この場を借りてお礼申し上げます。有難うございました。(小林)



**募金の総額は¥112,542円でした。
ご協力ありがとうございました！**

麦の里 避難訓練

“訓練”ということもあり、何となく緊張感に欠けるものでした。そこで避難に時間のかかったある一人の仲間に焦点を当てて、仲間の気持ちを想像しながら、職員で話し合いました。

仲間の特性（Aさん）

- ・重複障害（知的・視覚）がある
- ・情報の整理が苦手で、切り替えが難しく、すぐに動けない

Aさんの頭の中は…

- ・急に非常ベルが鳴り、パニック。
- ・地震が起きてびっくり。
- ・火事って何？わからない。
- ・逃げたいけど、動けない…
- ・何が起きているの？不安…
- ・どうしよう…

職員の頭の中は…

- ・早く逃げなきゃ。
- ・誰か代わって。
- ・でも誰も来てほしくない…
他の人が来ると余計に動けない…
（複数の人に同時に声をかけられると情報が整理できないため）
- ・最後は引きずってでも逃げる？
- ・早く逃げたいとパニック。焦る。
→どンドン口調が荒くなる…

どんな支援が必要？

- ・職員も焦る気持ちを抑えて、落ち着いて話す。（焦るのが伝わる…）
- ・訓練に慣れることが必要！
様々な場所の想定、予告なしでの訓練など。
- ・日頃からのコミュニケーションと信頼関係が必要。

★与える情報は多い方が良いもの？

- ・情報が多いと、整理に時間がかかる。→ 端的に、わかりやすく。
- ・ゆっくり丁寧に説明することができれば、理想的。

⇒本人が自分で考えて、行動できるように！出されるサインを待つことも大切！！

まとめとして、本番に近づけた訓練が必要であると感じた。実際に煙や地震の体験を行うことで、仲間も職員も突然の出来事に対応する力を身につけなければならない。“ベルが鳴ったら逃げる”とは頭の中で分かっているけど、いざ緊急時になると動くことができない。その仲間を前にして、職員としてどう対応すべきか、日頃の支援の中でも考えなければならないと痛感しました…。

きょうされん全国大会 in あいちのふし企画に参加しました！！

2月15日（金）、『きょうされん第42回全国大会 in あいち』の『第1回プレ企画』に仲間たちと参加してきました。

今回は仲間たちに向けての企画でした。きょうされん全国大会ってどんな歴史があるのか、どんな大会なのか？どんな企画があるのか？を少しお勉強した後、各地域から各作業所の仲間たちが応募した“金シャチ”の絵のコンクールの入賞者発表、歌声交流会、仲間の実行委員会からの決意表明が主な内容でした。

この“金シャチ”の絵、麦の里からA組の仲間が数名応募しました。まず、「金シャチって何？」から始まり、写真を見ながらのお絵かきです。でも、本当に、みんな上手!!味のある金シャチがたくさん生まれました。その中で、麦の里から1人、入賞者が♪山中勇樹さんです！色とりどりの色鉛筆を使って、とてもステキな金シャチが。今回は表彰式もありました。名前を呼ばれて表彰状をもらった勇樹さんは緊張気味でしたが、とても嬉しそうでした。

(勇樹さんの絵は商品になるそうですよ！楽しみです。)

そして、歌声交流会は大盛り上がり！歌が大好きな誠さんや彩さんはもちろん、ダンスが得意な直哉さんも前に出て嬉しそうに踊っている姿が印象的でした。大会のテーマソング「高く飛ばそう」は覚えやすく、練習した甲斐もあって、みんなしっかり覚えて帰ってきました。

今から愛知大会の開催が楽しみです！みんなで盛り上げていきましょうね☆ (大下)

※金シャチとは・・・愛知県にある名古屋城の上ののっている金色のシャチの事です。



きょうされんとは？

1977年に障害のある人たちの願いをもとに、16カ所の共同作業所によって結成されました。

2014年度からは「あたりまえに働き えらべるくらしを～障害者権利条約を地域のすみずみに～」をスローガンとし、障害者権利条約に基づいた法整備がなされ、障害のある人たちへの理解が社会に広く浸透し根付くことで、障害のある人たちが安心して地域生活を送れることをめざし活動を続けている団体のことです。

2019年度を迎えて

「麦の里」が社会福祉法人施設として運営を開始してから15回目の春を迎えました。そしてグループホーム「七色の麦」が活動を開始して5年目を迎えます。

新年度には「七色の麦」にもう一つユニットが増える予定で、現在着々と準備をしている所です。

これらグループホームの実現はもちろんのこと、この15年間の「麦の里」の歩み、仲間たちの日々の活動は、普段から活動を支えて下さっている地域のみなさま、そして法人認可前から「麦の里」を応援して下さいしている「麦の会 会員・賛助会員」のみなさま、そして保護者の方々、たくさんのご協力があってこそ、実現出来ています。

あらためて、感謝の気持ちを伝えさせていただきます。本当にありがとうございます。

さてこの4月から、新卒の、医療的なケアが必要な重心の仲間を1名迎え入れることになりました。瑞浪市からの通所で少し大変ですが、受入に向けて現場の職員は元気に準備を進めています。これで「麦の里」の仲間たちは総勢38名になります。

その一方で、職員の確保は『人手不足の時代』の中で、遅々として進まずです。

2018年度当初、正職員とパート職員、計2名を迎え入れたものの、その後なかなか増えず、12月以降にパート職員4名をようやく迎え入れることができました。（あと少しで新しいグループホームの職員体制も整えることができます。）いずれも50代の入職ですが、とても『明るく元気』でやる気のある方たちなので、現場も明るくなりました。これは本当にうれしい出来事でした。

そうして、スタッフを見渡すと、正職員は14名のままですが、パート職員は、運転手3名、ハウスキーパー、事務職も合わせると総勢34名。2019年度さらに増員の予定を考えると50名以上となり、今までで最大のスタッフ体制となる予定です。

話は変わりますが、新年度は「即位の日」が5月1日に行われる為、『大型連休10日間』が決まっています。麦の里では、この「大型連休」の過ごし方について「アンケート調査」を実施しました。仲間と家族34名の回答者の中で、「家族全員が10連休」という方は20%でした。そして、75%の方は介護者である母も含めて、お仕事のある家庭で、連休中の仲間たちのケアについて「困っている」ことが分かりました。つまり殆どの家庭が「連休中でも麦の里を開催して欲しい」と希望されていて、「利用は考えていない」という家庭は、ほんの一握りという結果となったのです。

一方、「働くスタッフ」のアンケートを見ると、まず『パート職員』は時間給である為「連休を少なくし働いてもよい」という方が多くありました。（学童の母である女性パートは、子供の休みに合わせて休まざるをえない方もいましたが。）反対に、月給で働いている『正職員』は、当然「休みは多い方が良い」となり、パート職員とはかなり意識が違うことが分かりました。

結局、「麦の里」としては、仲間たちの生活リズムの安定を考えて連休中も4日間は開催することになりました。けれども、出勤したい正職員ばかりではない中で、どのようにスタッフを確保していくのか、年度初めから頭の痛い問題が出ています。

このことに関してもう一步話を進めると、「利用者」と「介護職員」とでは、「休日」の取り方に大きな希望の差があるのだということが浮き彫りになってきています。（例えば、共働きの家庭からは、毎週土曜日に麦の里を開催して欲しいという要求も出ている等々）。また、同じスタッフでも「正職員」と「パート職員」の違いから意見がまとまりにくい状況があるのです。

限られた『介護給付費』の中で、『なかま達の日中生活を支えるために』どのように活動日を設けたら良いのか？本来ならば家族とスタッフが一緒になって考えていくべき、大切な福祉のテーマだと思いますが、どこでどのように話し合っていくのか？今後の課題が見えてきています。

年度当初から、ややこしい話を持ち出してしまいましたが、それでもとにかく、「どんなに重い障害があっても、地域の中で生き活きと活動したい。生活したい。」という仲間たちの「おもしろい」に寄り添いながら、家族とスタッフが一緒になって、日々を進めていきたい。いいえ、進めていかなければならないと考えています。

(わたなべ てるよ)

**今年度も、麦の里と七色の麦を
どうぞよろしくお願い致します。**





仲間紹介

かとう ようすけ
加藤 洋介 さん

麦に来た当初は、おちょんぼ（頭の上で一つに結んだ前髪）がトレードマークで、まだ少年のあどけなさが残った「可愛らしい」洋介さんでした。なんと言っても母の手作り敷物（90センチ四方）の上でかわいらしく緊張していた20歳前。そこから倍以上に大きくなりました。身長も麦に来てからどんどん伸びて、身体は細いですが、筋肉むきむきの、細マッチョに！そんな大人になった今でも愛称は昔と変わらず「洋ちゃん」です。

歌が大好きで、童謡、アニメの曲など歌ったり、手遊び、トランポリンなど体幹遊びも大好きで、激しい揺れもへっちゃらです。特に宇宙刑事ギャバンの主題歌はテーマソングになっています（笑）

昔は抱っこをするとリラックスして緊張が抜けていましたが、最近では骨密度、身体の硬さなどいろいろな理由からなかなか抱っこも出来ず…姿勢を工夫してリラックスできる時間が増やせるといいなと感じています。そんな中でも、だんだんと麦の里に居場所ができ、安心してお昼寝をする場面も増えました。トイレとお風呂は職員との大切なコミュニケーションの時間。男同士の裸のつき合いで、身体を伸ばしながら、ゆったりとした時間を過ごしています。

今年になって調子を崩し、入院してしばらくは、表情の変化がなくなり、なんとかみんなでお笑わせようとしたときもありましたが、今ではリラックスした表情が戻ってきました。大人になった今でも笑顔は可愛く、周りをほんわかした気持ちにしてくれます。洋介さんも、もう27歳。さらに磨きをかけて、すてきな男性になってね。

＃アグネスコラム

「障害者」とはどんな人のことでしょうか？

数年前に「害」という表記は、「障がい者」になりました。

しかし名前が変わった今でも、偏見があるのは変わりません。

仲間と共に働く私達だからこそ、「障害」とは何かを考えなければなりません。

そこで障害を「課題」と捉えてはどうでしょうか？

課題の無い人はいないはずですよ。

そんな課題に向き合って頑張っているあなたはきっとキラキラしています。

あなたの「障害」＝「課題」は何でしょうか？



麦の里 日常風景



中品野町 グループホーム七色の麦 思い出の写真館

～ 避難訓練 ～

2月20日水曜日。19:00頃に調理補助職員さんが緑麦にて火災を発見した想定。「キッチンで火事が起きました！」の声を合図に、七色の麦での避難訓練が始まりました。仲間9名+職員5名(内2名は初期消火と通報で手一杯)が慌ただしく動き始めます。

屋内はバリアフリーの建物ですが、2階のバルコニーへ出るときは段差になっていて、一段降りなければなりません。普段からバルコニーを使っていない視覚障害のある仲間は、慣れないせいか、段差の手前で戸惑う様子が見られました。

聴覚障害のある仲間は、火元に近い緑麦の居間でテレビを見ていました。消火担当だった職員がその仲間に、手話で火事だと伝えられないことに気が付きました。とにかく職員としては迅速に動くしかありません。その仲間に身振り手振り、口をゆっくり動かしたりして何とか伝えようとしますがうまく伝わらず。最終的にその仲間は、他の仲間たちが逃げている様子を視界に収め、納得し、誘導に従って避難できました。

床を這っている仲間達はもちろん抱えての移動となるため、避難は素早くできますが、避難先のバルコニーでけがをしてはいけないと事前に毛布を敷いて、バルコニーに職員を一人残して他の仲間とぶつからないようにする等、配慮が必要でした。

色々な課題が見えた訓練でしたが、時間にすれば3分以内で避難完了。距離が短かったおかげもありますが、まずまずの結果となりました。反省会では感想を尋ねられた仲間達が口々に「逃げれた」と言っていました。例えば夜中に火事が起きたらどうするのかと質問する仲間もいて、彼らにとっても意義のある訓練になっていると感じました。

次は秋ごろ。みんなでまた頑張りましょう。

～ ひなまつり ～

2月最終週の月曜日。職員が仲間の会で「ひなまつりの時期だけど、ひなあられ食べる人？」と尋ねると揃って「食べる！」と返す仲間達。「じゃあ水曜に食べようか」ということになりました。日にちはズレましたが、2月の終わりにひなあられを買いに行ってもらいました。「甘いのはダメなもので」「大きいのは甘いよ！」と笑って話す仲間がいたため、買い物へ行く仲間にはしょっぱいのをメインに買うようお願いしました。

夕食時は職員もバタバタしていますが、刻み食の仲間達でも食べれるように、あられを潰してとろみをつけて、ひと手間かけてテーブルへ並べていきます。

いつもはつかない夕食時のおやつに、みんなワクワク。お掃除のパート職員さんお手製の可愛らしいひな人形(ミニチュア版)を眺めながら、あられをパクリ。談笑しながらあられを食べている仲間達の姿を見て、どことなく春の訪れを感じた小木曾でした。

(小木曾)

お礼のコーナー

〈敬称略 順不同〉

◆◆麦の会の会員・賛助会員になっていただきました◆◆

賛助会員更新： 田中栄子

◆◆バザー用品等を提供していただきました◆◆

野々宮菊代 法音寺 明治安田生命瀬戸店 梅村咲子 花井共子 匿名希望1名

◆◆社会福祉法人麦 及び 施設麦の里へ寄付金&物品をいただきました◆◆

阪口康祥 熊谷レイ子 村上忠彦 瀬戸ライオンズクラブ 障害者とともに歩む麦の会

匿名希望 11名

◆◆「グループホーム青色の麦」建設募金をいただきました◆◆

浜口大 大川兄弟 大野芳治 加藤進一郎 障害者とともに歩む麦の会

—お詫びとお断り—

賛助会員の申し込み、バザー用品、また寄付金などのご協力を頂いた方については、事務処理の都合上掲載が次号になる場合があります。申し訳ございませんが、御了承下さい。 (3月10日現在)

職

員のつぶやき

数ヶ月前に、約5年間、一人暮らしをしていた娘が戻ってきました。

ピーク時は、9人家族だった我が家は、一人くらい増えても大丈夫！だと思っていました。ところがいざ戻ってくるとなると、意外と大変。物置部屋になっていた部屋を家族総出で大掃除。

娘の引っ越し当日、1DKのアパートのどこに隠してあったのかという程の荷物で…何とか引っ越しを終え、部屋に荷物を運びこんだものの、台所は食器や鍋などの台所用品であふれかえっている始末。結局最後は、断捨離。御蔭で家はきれいになりました。

娘はというと、約5年間の一人暮らしで、2回りほど大きくなっていましたが、8ヶ月経った現在、体重が10kg減！周囲からは、どんなダイエットをしたの？と聞かれるそうで、その時は、実家に戻り、「ちゃんと家でご飯を食べる事！」だと話しているそうです (笑) <みど>

第27回 麦の会定例総会のお知らせ!!

日時：2019年6月1日(土)

場所：ぬくも里(品野台地域交流センター)

時間：9時30分受付開始 10時開始 12時終了予定

今後の予定

4月6日 麦の会 定例会
日立オムロン桜まつり
出店予定
11日 イロレシートキャンペーン
14日 ふれあい朝市出店予定
23日 北山地区廃品回収予定

5月2日 麦の会 役員会
11日 麦の会 定例会
イロレシートキャンペーン
12日 ふれあい朝市出店予定
15日 わいわいセール出店予定
17日 福祉マルシェ出店予定
25日 麦の会 役員会
28日 北山地区廃品回収予定

やすらぎ会館 木曜日 開催日

4月

4日 午後
11日 午前
18日 午後
25日 午前

5月

9日 午後
16日 午前
23日 午後
30日 午前

※ 変更になる場合もあります。

会場

住所：愛知県瀬戸市川端町1-31

電話：0561-84-2011

パン、炭、EMボカシ等仲間と接客販売しています。
是非仲間たちに会いにきてくださいね。

午前：10：00～11：30
午後：13：30～15：00

もめん わた 木綿の綿を大募集!!

牛乳パック椅子を作るときに使う
木綿の綿が不足しています。
あまり傷んでいない綿がありましたら、
ご協力お願いします!

障害者とともに歩む 麦の会
生活介護事業 及び 麦の里
就労継続支援事業B型
共同生活援助事業 七色の麦
〒480-1214 愛知県瀬戸市上品野町1354-12
電話(0561)41-4124/FAX(0561)41-3766
Mail nakamanowa@mugisato.or.jp

編・集・後・記

最近暖かい日が続いていますね。
天気の良い日には釣りに行きたくて
ウズウズします・・・
ヒラメ釣りたいなあ。

(たら)